

郷音

山形県立産業技術短期大学校庄内校

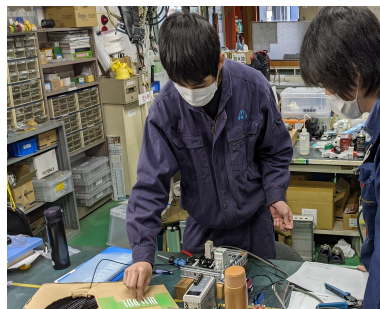
【きょうおん】
ふるさとの言葉づかい
国なまりという意。



SHONAI COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY

【教育振興会会報】 令和4年7月20日発行

第35号



令和3年11月8日（月）から12日（金）の5日間、生産エンジニアリング科1年生15名が、企業実習ということで各企業様へお世話になりました。

コロナウィルス感染の心配が大きい時期でもありましたが、各企業様からお引き受け頂けたことで、この度もこの実習を無事終えることができました。誠にありがとうございました。

多くの会員企業様にもお世話になりまして、学生も実習を通して社会人としての心構えの認識や学校ではできない経験ができたものと思っています。今後とも変わらずお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

目次

ごあいさつ、夢と希望に燃える令和4年度入学生・P2
「with コロナ」の時代に入った庄内校・・・・・・P3
会員企業のご紹介・・・・・・・・・・・・・・P4
各学科の教育活動・PR・・・・・・・・・・・・P5～6
企業実習（体験記）・・・・・・・・・・・・・・P7
卒業研究発表会テーマ一覧・・・・・・・・・・P8～9

令和3年度進路状況、就職先企業のご紹介・・・P10
受賞に輝く卒業生
令和5年度学生募集・・・・・・・・・・・・・・P11
新任職員等紹介・・・・・・・・・・・・・・P12
編集後記



ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校
教育振興会 会長 弦 巻 伸

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、技術の進展が著しい現代社会に対応できる人材を庄内で育成してほしいという、私たち庄内の産業界の要請に应运えて平成9年に開校され、以来、当地域の即戦力となる優秀な人材を多数輩出していただいております。

皆様には、学生の企業実習や校外学習などの実践的な職業能力開発へのご支援を賜るとともに卒業生の採用についてもご尽力をいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによって余儀なくされたりリモートによる授業あるいは企業の就労形態も、次第に対面の復活やハイブリッド方式という新たなスタイルが確立される中であって、当校の教育活動も順次対外的な実習や研修、イベントや競技会等への参加を復活させさらに拡大していくことで、地域の生産活動や経済活動を担う技術者・経済人を地域の中で育てることができ、地域に定着してもらうことができるのではないのでしょうか。

当教育振興会としましては、庄内校の学びを止めることなく教育訓練活動を支援するとともに、学生が地元企業に定着するよう働きかけ、地域産業の振興に寄与して参りたいと考えております。皆様には、今後とも庄内校への温かいご協力をお願いするとともに、会員企業の益々のご繁栄を祈念いたします。

夢と希望に燃える令和4年度入学生

生産エンジニアリング科 後藤 雅



私が庄内校の存在を知ったのは、中学1年生の頃に庄内校でものづくりについて学びたいと考えていました。しかし、続けてきた柔道を高校でもやりたいと思い、普通科に進学しました。柔道も一区切りし、いざ将来のことを考えた時に庄内校の存在を思い出し、改めてものづくりの他に、機械制御や材料の加工についても学びたいと考え、生産エンジニアリング科を選びました。

基本的に習ってきた数学、英語以外は初めて学ぶものばかりで不安でしたが、先生方が丁寧に教えてくださり少しずつですが、自分の力になってくるのが実感できました。まだ、これからより多くのことを学ぶのでしっかり自分の身になるように学んでいけたらと思います。

情報通信システム科 長谷川 慎太



私は、酒田光陵高校の情報科で学んだ知識を、高校から短大につながる5年一貫教育でさらに深めたいと思い入学しました。最新の知識や技術を学んで、地域社会の課題を解決できる実践的なICT技術者になりたいです。また、資格試験にも積極的に挑戦し、将来は身に着けた力で地元企業の発展に貢献したいです。

IT会計ビジネス科 工藤 叶愛



私は、地元産業のニーズを知り、今まで高校で培った知識・技術をさらに発展させ、地域に貢献できる人材になりたいと思い入学しました。

当校では、特色でもある少人数教育のおかげで、先生との距離が近く、授業の内容だけでなく、より意欲的に学習に取り組むこともできます。

二年間という短い期間ではありますが、簿記をはじめ、様々な資格を取得していきます。

ひとつひとつに目標を掲げ、時間を無駄にしないよう学習していきたいです。



「with コロナ」の時代に入った庄内校

山形県立産業技術短期大学校庄内校
校長 尾形 健明

産技短庄内校教育振興会会員の皆様には、日頃から、本校の学校運営、学生の教育訓練、企業実習や就職などにつきまして、多大な御支援や御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年度は、体育祭やオープンキャンパス等の行事も可能な限り実施し、withコロナでも学生が充実したキャンパスライフを送れるように取り組みました。

3月17日の卒業式では、本校体育館において松村副会長様のご臨席のもと、ご家族の皆様とともに、27名の卒業生を送り出しました。令和4年3月までの本校の卒業生は934名となり、85%以上の卒業生が県内企業に就職して活躍中です。就職率については、コロナによる影響が出ることもなく、100%を達成することができました。これもひとえに、教育振興会の皆様の御理解と御支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今年度の入学式は、弦巻会長様のご臨席のもと、4月5日に本校体育館において執り行われました。定員確保の入口対策が功を奏し、今年度の入学生は41名となり、昨年度に続いて定員の約70%に達しました。2年連続で多くの新入生とご家族が参加した入学式になりました。大変喜ばしく感じているとともに、これからの2年間、実りある充実した学生生活を送ってもらえるよう、教職員一同力を尽くしたいと思います。

我々の最大のミッションは、即戦力となる優秀な若手産業人材を育成・輩出し、本県とくに庄内地域の産業界の発展に貢献することです。2年続けて入学生が70%になったからといって、定員割れに違いはなく、このままで満足していると、県産業そのものの弱体化にも繋がってしまいます。我々としては、今こそ県内の高校や産業界とのパイプをより一層強化し、高校との教育連携や企業との共同研究を積極的に行うとともに、学生や企業のニーズを踏まえた新たな教育システムを積極的に取り入れながら、本校の機能を強化し、官民挙げて若手産業人材の確保・育成・地元定着を図っていききたいと強く考えているところです。

私どもは学生と教職員の安全を第一に捉え、コロナに負けないよう努力を続けてまいりますので、引き続き御支援、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

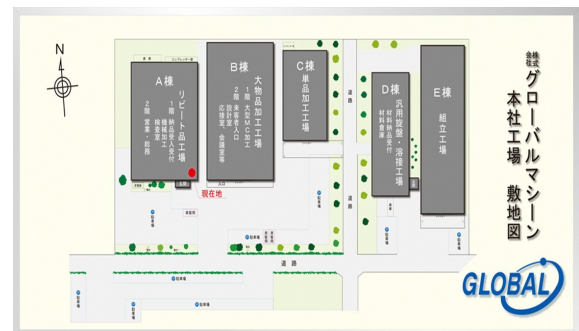


～地域と共に成長する 100 年企業を目指して～

1972 年東京都町田市に創業以来 50 年、山形県に根を降し 32 年、地域と共に歩み続ける不滅の技術を身につけた 100 年企業を目指しています。

■会社概要

所在地 東田川郡庄内町余目大字大塚 25 番地
創 業 1972 年 7 月 21 日
設 立 1981 年 1 月 9 日
代表者 代表取締役 菅原勝安
資本金 3,200 万円
従業員 65 名 (2022 年 6 月現在)
支 社 神奈川県相模原市中央区田名 3357 番地 1
営業所 宮城県川崎市古川前田町 6-5 前田ビル 2F



■当社の紹介

当社は門型五面加工機、マシニングセンター、NC 旋盤を主に、放電加工機、ワイヤーカットなど様々な工作機械を有しているため、いろんな加工が対応可能で特にメカニック部品の製造及び自動車部品等の量産品を生産しています。

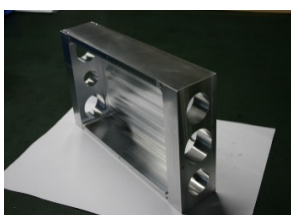
また、国内外の生産工場で使用する製造設備、検査設備を設計から組立、配線、完成までを一貫生産出来ることを強みとしております。



▲門型五面加工機

■製品紹介

汎用機械も数多く所有しておりますので、速く、安く、高品質な製品を製作しております。



生産エンジニアリング科

会員の皆さまには何かとお世話になっております。昨年度（令和3年度）も就職率100%を維持することができました。これも皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

今年3月には、生産エンジニアリング科として初めての卒業生が、各企業様にお世話になることになりました。新カリキュラムを学んでの就職となります。工場の自動化（Factory Automation）技術やCAD／CAM／CAE技術等を学んだ卒業生が就職した企業で活躍することを期待しております。また、在籍している学生につきましても、ものづくりのスペシャリストの育成を目標に、頑張っています。

2月には卒業研究発表会が行われます。2年生は個別に設定した研究課題について取り組んでいるところであります。昨年度も一昨年度同様、新型コロナウイルス感染を考慮し、外部からお迎えすることのできなかったことが非常に残念でした。今年度は企業の方々をはじめ多数の方々をお迎えし、発表できることを願っております。

新型コロナ感染も収まり始め、活動も以前のようにはなりませんが、少しずつ増えている状況であります。まだ油断はできませんが、就職活動や資格取得なども昨年度などに比べると状況は改善してきているように思われます。会員企業の皆さまにおかれましても、これまで以上のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

情報通信システム科

教育振興会会員企業の皆様には、日頃、様々のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。令和3年度卒業生も多く、多くの学生が地元企業に内定をいただきました。これもひとえに会員企業の皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

2年生は、実践コース5名と基礎コース10名の合計15名です。早期に就職希望者全員の内定が得られるように学生と教員が一体となって就職活動に取り組んでおります。6月末時点で、既に9名が内定や内々定をいただいております。これからも全員が内定するまで活動してまいります。2年生は入学以来、コロナ禍で様々な制約を感じながらの学生生活でしたが、これからは徐々にではありますが各種イベントや競技会への参加を通して、技術力の向上と地域で活躍する経験を積ませたいと考えています。急速に進むデジタル技術の進展に対応できる人材の育成に取り組んでいきます。

1年生は、実践コース7名、基礎コース8名の計15名が在籍しています。4月中旬から本格的な授業も開始されて、徐々に学校生活にも慣れてきたところです。それぞれが、「システムエンジニアになりたい」、「情報処理技術者試験に合格したい」、「AIやビックデータの学習がしたい」と目標を持ちながら、日々の学習を頑張っています。今年も新型コロナウイルスの影響が続く状況で、振興会企業の皆様には、校外学習や企業実習等とこれまで以上のご支援を賜ることがあるかと思いますが、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

IT会計ビジネス科

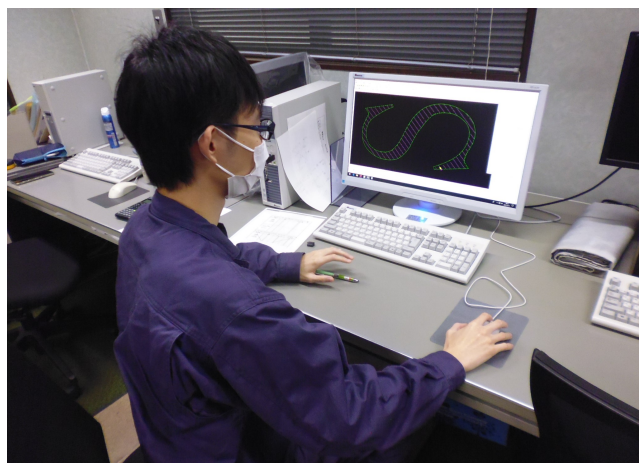
企業会計分野では、日商簿記検定 2 級に 3 名が合格しております。近年、日商簿記検定 2 級は出題傾向が変化し、合格率(全国平均)の低い状況が続いておりました。当科では新傾向の試験に対応した指導を行うとともに、新たに設けられたネット試験を有効活用し、複数の合格者を輩出することができました。

さらに、令和３年度より地域の産業構造に対応し新たに医療事務分野をカリキュラムに加えましたが、当分野におきましても、医療事務資格である「医療事務技能審査試験」に合格し、メディカル・クラーク®（医科）に１名が認定されました。メディカル・クラーク®（医科）は、診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる能力を備えていることを証明する資格とされております。

全学科企業実習

実習先： 大東工業株式会社
生産エンジニアリング科 2 年 栄田 純大

大東工業株式会社の皆様、本当にありがとうございました。



実習先：東北エプソン株式会社
情報通信システム科 2 年 長南 弥真斗

私は、東北エプソン株式会社で、IT とIoTを使った生産管理のシステム開発に関する業務を経験させていただきました。
シングルボードマイコンと照度センサを使用し、設備機器の状態を監視したデータを、クラウドサービスに蓄積し、状況の見える化を行いました。
今回のIT とIoT を使った生産管理のシステム開発の実習を通して、業務の知識や社会人としての仕事への取り組みの姿勢や心構え、これからの自分に必要な技術を知ることができました。
ご指導して下さいました、東北エプソン株式会社の皆様方、本当にありがとうございました。
(注：写真は、学校内で撮影したものです。)



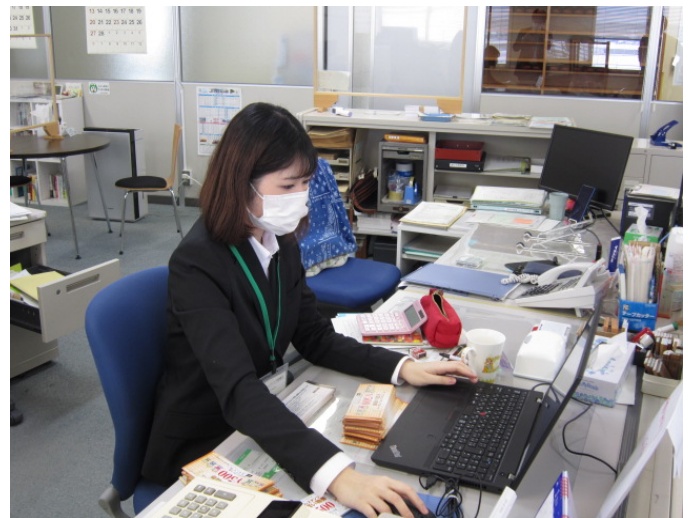
実習先：遊佐町商工会
IT 会計ビジネス科 2 年 堀 葉月

私は、遊佐町商工会で企業実習を行わせていただきました。

実習では、事務職の仕事内容を学んだり、経営者の方の話を聞かせてもらったりと貴重な体験をさせていただきました。

事務職の仕事がどういうものなのかを私はあまり理解していなかったので今回の実習を通して事務職の仕事を詳しく知ることができました。また、今の自分には何が足りないのかを明確に理解し、自身の成長につながる体験だと思いました。経営者の方の話を聞いて地域の為にどう工夫しているかを聞かせてもらい、とても感動しました。

遊佐町商工会の皆様、たくさんのことを学ばせていただき、本当にありがとうございました。



(紙面の都合上、受入れいただいた企業への感想等全てを掲載できなかったことをご容赦ください。)

令和4年2月24日から25日までの2日間、本校の大講義室等において令和3年度卒業生の卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成として取り組んだテーマの要旨を掲載していますが、詳細については、指導教員にお問い合わせください。

令和4年2月25日（金）

番号	テ ェ マ	概 要	発表学生	指導教員
1	教育用空気圧実験装置の製作	座学だけでは理解しにくい空気圧回路を実験を通して理解できるように、教科書と同じ回路が組めるように組替え式空気圧実験装置の作成を行った。	乙坂 隼	津田 勇
2	内径切削での面粗さ改善	旋盤作業において、使用するチップ（刃先）を変えずに回転数・切込み・刃物の突出し量を変えることで、表面粗さに与える影響を調べ最適な条件を探す。	小林 宙夢	津田 勇
3	ネットワークを用いた制御	プログラマブルコントローラによるシーケンス制御装置と視覚化、集約管理などを可能にする表示器をネットワーク（Ethernet）により連携した制御システムの実現を目指す。	石栗 稔也	佐藤 義則
4	エレベーター模型の製作	2基のエレベーターを実現するための連携した動作などを実現させる制御システムの実現を目指す。	難波 大翔	佐藤 義則
5	協働ロボットの普及啓発を目的とした作業デモンストレーションの作成	今年度当校生産エンジニアリング科に新に導入された協働ロボット「Cobotta」を活用し、協働ロボットを用いた様々なデモンストレーションを製作、ロボットの活用のためのヒントとして提供し、協働ロボットの普及啓発を行う。	阿部 紘太郎	新居 徹哉
6	協働ロボットを載せる無人移動車の開発	今年度当校生産エンジニアリング科に新に導入された協働ロボット「Cobotta」の、小型で安全柵が不要であるという特長を活かした応用を探るために、ロボット用無人移動車を製作しロボット活用の対象拡大を目指す。	梅木 睦耶	新居 徹哉
7	超初心者向け旋盤作業教材の開発	旋盤を触ったことも見たことも無い人が理解できる超初心者向けのテキストや動画などの教材を開発した。	安野 勇斗	飛田 成浩
8	旋盤作業における安全マニュアルの開発	工作機械で代表的な旋盤作業について工場や教育機関で利用できるKYT（危険予知トレーニング）を中心とした安全マニュアルを開発した。	長谷川 凌助	飛田 成浩

令和4年2月24日（木）

番号	テ ェ マ	概 要	発表学生	指導教員
1	津波災害避難支援アプリの開発	2011年の東日本大震災や近年の豪雨災害の増加に伴い、津波や洪水のハザードマップや避難所の見直しが進んでいる。 災害発生時、特に津波発生時は、津波到達時間までの短時間で避難しなければならないが、現在場所からとっさに適切な避難所を判断するには、何らかの支援が必要であると考えた。 そこで、酒田市の津波ハザードマップを元に、近隣の避難場所を見える化し、一番近い避難場所までのナビゲーションが行えるスマホアプリを開発した。	奥山 志音 管 悠真 小柴 直玖 佐藤 望 中村 堅賢	工藤 智子 吉田 明弘

2	迷惑メール解析におけるAI技術活用の検討	国内メールのうち、スパムメールやフィッシングに代表される迷惑メールは約40-50%が占めており、依然として高い水準にある。 これらを解決するため、様々な迷惑メールフィルタリング技術やスコアリング技術が存在しており、AIによる迷惑メール判定技術も各種メールサービスで実装されるようになってきている。本校にも過去数年間の迷惑メールが多数保存されており、これらを活用し、AIによる迷惑メール判定とその実装を検討する。	齋藤 力 制野 隼人 荒川 楓麻 五十嵐鼓太 池田 陸	開沼 和広 工藤 智子
3	室内の混雑度と空調環境監視IoTシステムの開発	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現在有効とされている対策に、密接な状況を作らないことと換気することが挙げられる。しかし、密な状況や換気がなされていない状況を常に認識し、判断しながら生活することは難しい。さらに、特に夏の冷房と冬の暖房を稼働している状況では、換気のタイミングを最適化することが、持続可能な社会を形成する上でも重要である。 本研究では、カメラにより人を検出し混雑度を把握すると共に、室内の空調環境データを計測することで、状況に応じた換気の必要の有無を室内にいる利用者に対して、注意喚起するIoTシステムを構築した。	岩間 一真 斎藤 奏也 小林 恭平 富樫 洸太	芝田 浩 萬年 亨 志田 長

令和4年2月25日（金）

番号	テ - マ	概 要	発表学生	指導教員
1	スマート農業の普及に関する考察 ー 熟練農業者の技術伝承の視点からー	スマート農業はこれからの農業には欠かせない技術だ。しかし、普及推進事業などが行われている中、実態を見てみるとあまり普及していない。農業者の熟練した技術を若者に伝承していくという視点から高齢者に焦点を置き、どのように普及させていくかを考察する。	伊田 菜々子	高橋 永子
2	委託販売制における出版取次の役割についての考察	日本の書店数と出版物の販売金額は毎年減少している。販売金額が減少している原因について調べた中で、日本の出版流通は委託販売制という独自の制度を採用していることが明らかになった。 そこで、本研究では、この制度がいつから始まり、出版業界にどのような影響を及ぼしているのかについて考察する。	赤羽 涼風	佐々木 健
3	デ・ブランディング戦略についての考察 ー スターバックス・ナイキを例としてー	デ・ブランディング戦略とは、あえてブランド名を使わずに、ロゴやシンボルマークで、マーケティングを行う戦略のことである。 ブランド認知が確立されたことでブランド名を使わずとも消費者への露出が可能となっていると思われる2社について調査し、考察を行う。	豊岡 美南	吉田 勝紀
4	アマチュアスポーツチームの地域貢献活動のあり方に関する考察 ー スポーツSDGsの視点からー	プロスポーツチームでの地域貢献活動は全国各地で見受けられるものの、認知度や資金力の低さからアマチュアスポーツチームでの実現例は少ない。 そこで、本研究では酒田市のアマチュアスポーツチームを用いて、スポーツSDGsの視点から、地域貢献活動の実現は可能なのか、あり方に関して考察する。	丸藤 愛香	鷹觜 直也
5	豊かさを実感できる社会に必要なものとは？ - 地方都市からの視点 -	海外から礼賛されている日本は、本当に豊かさを実感できる国なのか疑問を持った。そこで、本研究では豊かさを実感できる社会に必要なものは何か、地方都市からの視点も取り入れ考察を行った。	渋谷 咲良	原田 文規

令和3年度 進路状況

学科名	項目 卒業生	就 職 希望者	就 職 内定者	地 域 別 内 訳						就 職 内定率 (%)
				庄 内 地 区	村 山 地 区	最 上 地 区	置 賜 地 区	県内計	県外計	
生産エンジニアリング科	8	8	8	8	0	0	0	8	0	100
情報通信システム科	14	14	14	10	3	0	0	13	1	100
IT 会計ビジネス科	5	5	5	5	0	0	0	5	0	100
計	27	27	27	23	3	0	0	26	1	100

就職先企業のご紹介（五十音順・敬称略）

生産エンジニアリング科	情報通信システム科	IT 会計ビジネス科
阿部エンジニアリング株式会社	ALSOK 山形株式会社	伊藤公認会計士事務所
スズモト株式会社	オビサン株式会社	株式会社インテック
TDK 庄内株式会社	株式会社管理システム	株式会社サンライズ機工
株式会社テクノ	キューブワン情報株式会社	株式会社主婦の店鶴岡店
東北エプソン株式会社	株式会社庄内食肉公社	庄内みどり農業協同組合
東北電機鉄工株式会社	TDK 庄内株式会社	
株式会社トガシ技研	株式会社日情システムソリューションズ	
	日本アバカス株式会社	
	パイプ・ラインエンジニアリング株式会社	
	フジテック株式会社	
	株式会社プレスステージ・インターナショナル 山形 BPO パーク	

受 賞 に 輝 く 卒 業 生

令和3年度卒業式が3月17日に行われ、卒業研究や2年間の学業成績が特に優秀だった学生、学習へ取り組む姿勢や日常活動が他の模範となった学生が表彰されました。

山形県知事賞	情報通信システム科	齋 藤 力
学校長賞	生産エンジニアリング科	阿 部 紘太郎
	IT 会計ビジネス科	伊 田 菜々子
教育振興会長賞	生産エンジニアリング科	長谷川 凌 助
	情報通信システム科	制 野 隼 人
	IT 会計ビジネス科	丸 藤 愛 香



山形県知事賞を受賞する齋藤 力さん

令和5年度学生募集

1 募集科・募集定員

生産エンジニアリング科	20名
情報通信システム科	20名
情報技術者実践コース（実践コース）	
情報技術者基礎コース（基礎コース）	
IT会計ビジネス科	20名

2 入学試験日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
推薦入学試験	10月24日(月) ～	11月12日(土)	11月17日(木)	11月21日(月) ～
社会人特別入試（第1期）	11月7日(月)			12月5日(月)
一般入学試験 （前期）	11月14日(月) ～	12月3日(土)	12月8日(木)	12月12日(月) ～
社会人特別入試（第2期）	11月28日(月)			12月26日(月)
一般入学試験 （中期）	12月19日(月) ～	1月21日(土)	1月26日(木)	1月30日(月) ～
社会人特別入試（第3期）1	1月16日(月)			2月13日(月)
一般入学試験 （後期）	3月6日(月) ～	3月22日(水)	3月24日(金)	3月24日(金) ～
社会人特別入試（第4期）	3月17日(金) ※1			3月28日(火) ※1

※1 入学手続期間は、3月28日(火)12時まで

3 募集区分

		生産エンジニアリング科	情報通信システム科		IT 会計ビジネス科
			実践コース	基礎コース	
推薦 入学試験	一般推薦	●	●	●	●
	指定校推薦	●	●		●
一般 入学試験	前 期	●	●	●	●
	中 期	●	●	●	●
	後 期	●	●	●	●
社会人特別入学試験		●			●

4 試験科目（全ての入学試験に面接試験有）

		生産エンジニアリング科	情報通信システム科		IT 会計ビジネス科
			実践コース	基礎コース	
推薦 入学試験	一般推薦	数学Ⅰ ※1	面接のみ	数学Ⅰ	作文
	指定校推薦	面接のみ	面接のみ		面接のみ
一般 入学試験	前・中・後期	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	小論文
社会人特別入学試験		数学Ⅰ			面接のみ

※1 技能検定（3級以上）合格者は、数学Ⅰの試験免除有

教 員

准教授（生産エンジニアリング科） 多田 淳



4月から庄内校にお世話になっております多田です。これまで山形校で3次元CADを使った機械設計や、汎用工作機械・マシニングセンタを使った機械加工を担当してきました。庄内校でも引き続き機械設計・機械加工を担当し、FA装置の製作に取り組んでいきます。指導においては学生ファーストを常に意識して、本校で学ばべき知識やスキルが習得できるように、サポートしていきます。また、庄内地域の企業発展に貢献できるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。

事 務 局

教務学生主幹（兼）教務学生課長 高橋 幹二



農村振興の部署から参りました。産業界でも人手不足で大変な状況は、農村の厳しい現状と似ていると感じます。教務学生課では、本校の魅力を多くの県民と共有し、学生が地域企業で活躍してくれることを「やりがい」として頑張りますので、ご指導の程お願いします。

総務課長 加藤 浩喜



この4月に庄内総合支庁から赴任しました。今まで高等学校や県の教育委員会などにも勤務した経験がありますが、新たに大学の職員として、高校との違いも感じながら毎日業務にあたっております。学生の皆さんが安心して楽しく学べる環境づくりのため、そして希望される企業等への就職が叶うようお役に立ちたいと思っております。

総務主査 河野 珠紀



4月から事務室でお世話になっております。主に学校の維持管理に関する業務を担当しています。学生の皆さんが安心して学校生活が送れるように環境整備に努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

主 事 阿曾 雅



4月より総務課でお世話になっております。主に授業料関係や電気水道代など各種支払い事務を担当しております。皆様が快適に学校生活を送れるよう努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

高校連携コーディネーター 諸原 正巳



41年に亘った高校での教育活動に終止符を打ち、この4月から高校連携コーディネーターとして、高校、そこで学ぶ生徒たちと本校を結び役割を果たそうと新たな取り組みを始めました。職場には、長年培ってきた「文化」が存在していると思いますが、いままでとは違う空気に触れながら、頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

運転手(兼)業務員 石栗 仁一朗



4月より総務課でお世話になっております。これまでは土木系の会社で保全担当として従事してきました。学校では主に運転手と施設の環境整備を担当しています。運転手として安全運転に努めます。また、施設の安全性や快適性を考え、安全に学校生活を送れるよう環境づくりに努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

教務厚生推進員 荒木 麻由香



教務学生課・教務厚生推進員としてお世話になっております。様々な学校行事のお手伝いをさせていただいております。学生の皆さんが充実した学校生活を送れるよう、努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

編 集 発 行

山形県立産業技術短期大学校庄内校教育振興会

〒998-0102

山形県酒田市京田三丁目57番4号

TEL0234-31-2300・FAX0234-31-2770

編 集 後 記

平成10年に創刊された本誌も、今回35号の節目を迎えました。この間、私たちは経済危機や大地震、豪雨(雪)災害など幾多の困難を乗り越えてきました。そして今、時代はwithからafterコロナへ。3年ぶりに笑顔と活気を取り戻す時が来たと思っております。